



静岡県認定農業者協会だより

Vol. 51
2024年3月

〒420-0884 静岡市葵区大岩本町15番21号
静岡県認定農業者協会（事務局：（一社）静岡県農業会議 鈴木・山城）
TEL 054-294-8321 FAX 054-294-8380



静岡県認定農業者協会 令和5年度後期の活動状況

関東農政局と静岡県農業局との意見交換会の開催

令和6年1月24日（水）に、静岡市の静岡県男女共同参画センターあざれあにおいて、農林水産省関東農政局及び静岡県経済産業部の幹部との意見交換会を開催しました。

この会には、関東農政局経営事業支援部の土江担い手支援課長及び、静岡県経済産業部の笹野農業ビジネス課長をはじめとする農業局の8名の課長や技監の方々に御出席いただきました。当日は、県協会から市町の認定農業者等組織から取りまとめた18項目について意見や要望を行い、これに対する農政局や静岡県の考えを聞きました。

県協会では、次年度も今回の意見要望に関する国や県の取り組み状況や、新たな意見要望を募り意見交換会を開催する予定です。

静岡県認定農業者協会の令和5年度意見要望の概要

- 1 認定農業者の組織強化・活性化
 - (1) 市町段階における認定農業者の組織化及び当協会加入を進めるための市町への働きかけ
 - (2) 本協会に参加していない東部地区市町が次回「ふじのくに農業担い手サミット（東部地区）」実行委員会へ参画することへの働きかけ
 - (3) 認定農業者の役割を明確化と、補助や融資等における認定農業者のメリットの拡充
- 2 担い手の経営の維持・発展関係
 - (1) 農産物の再生産が可能な適正価格への理解を醸成するための取り組みの迅速かつ強化
 - (2) 燃油・肥料・飼料・資材等の価格高騰対策の継続と支援対象の拡大、及び価格高止まり状況への対応
 - (2) 「雇用就農資金」の継続及び、同資金で助成対象となる雇用就農者の要件緩和
 - (3) 中小規模の多様な担い手の営農継続を支える事業の拡充、及び既存補助事業の実施要件の緩和、並びに補助率の引き上げ

- (4)認定農業者の収入保険の加入を促進させるための掛け金への助成
- 3 新規就農者の確保関係
 - (1) 新規就農者の確保・育成施策の継続と拡充、及び若手農業者等による新規就農者のサポートや交流機会の創出
 - (2) 「経営開始資金」や「経営発展支援事業」における親元就農にかぎり付加されている要件の緩和
- 4 農地の利用・集積関係
 - (1) 「地域計画」の策定に精通した専門家の市町への配置など、地域計画の策定を円滑に進むための市町への支援
 - (2) 「荒廃農地再生集積促進事業」における、地域の様々な事情への配慮した支援内容への改善
- 5 施設機械整備関係
 - (1) 「持続的農業経営支援事業」の継続と十分な金額の予算化
 - (2) 使われなくなった茶工場を他の経営体が再利用できるための、茶工場の改修や不要になった製茶機械の撤去等に対する助成
 - (3) 分かりやすく、かつ見つけやすい補助制度周知方法の工夫
- 6 みどりの食料システム関係
 - (1) 収量・品質を維持しながら、化学農薬・肥料を減らすことのできる栽培技術の早期確立とその技術の普及指導體制の強化
 - (2) 共同物流拠点施設等の整備、共同輸配送など持続可能な流通システムへの転換
- 7 有害鳥獣対策
 - (1) 有害鳥獣被害対策における支援対象の拡大(狩猟など)、及びまた生息域を基本とした市町を超えた広域な対策の実施



関東農政局土江課長による説明

「第2回ふじのくに農業担い手サミット in 中部」の開催

令和6年2月13日(火)に、静岡市及び志太榛原地区の認定農業者の農場及び、ホテルグランヒルズ静岡を会場とした、「第2回ふじのくに農業担い手サミット（実行委員長：杉山浩一(静岡市認定農業者協会会長)）」を開催しました。

サミットには、県内市町の認定農業者組織や農業関係機関から計117名が参加し、大変盛況な雰囲気の中で視察や事例発表、情報交換会が行われました。

なお、令和6年度には会場を富士東部地域に変えて第3回サミットを開催する予定です。

【現地研修会】

中部地域で活躍している13の認定農家等を4つのコースに分けて視察しました。

コースNo. (視察地域)	視 察 先 ()は経営の特徴など
1 (静岡市)	<ul style="list-style-type: none"> ・古郡農園 (清水区 枝豆 周年・新規就農者育成) ・川村農園 (清水区 トマト カフェ、6次化) ・森内茶農園 (葵区 茶 多品種化、有機栽培・ツーリズム)
2 (焼津市) (藤枝市)	<ul style="list-style-type: none"> ・(有)高橋水耕 (焼津市 トマト アメーラトマト) ・oryza farm(株) (藤枝市 水稻 有機米、スマート農業) ・(株)ジャパン・ベリー (藤枝市 イチゴ 大規模観光農園、6次化)
3 (島田市) (川根本町)	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡オーガニック抹茶(株) (川根本町 茶 碾茶、有機抹茶) ・(農)川根美味しいたけ (川根本町 椎茸、茶 複合経営) ・杉本製茶(株) (島田市 輸出)
4 (牧之原市) (吉田町)	<ul style="list-style-type: none"> ・片岡地区果樹園芸団地 (吉田町 JAハイナン イチゴ栽培、(有)万年製茶 荒廃茶園解消) ・(株)トマトップ (牧之原市 トマト ブランドトマト、直販) ・(有)山本耕業 (牧之原市 水稻・トウモロコシ 6次化) ・森木農園(株) (牧之原市 茶、イチゴ他 マーケティング、SNS 活用)



森内茶農園 (静岡市)



oryza farm(株) (藤枝市)



杉本製茶(株) (島田市)



(有)山本耕業 (牧之原市)

【全体研修会】

ホテルグランヒルズ静岡(静岡市)において、3戸の認定農家を講師に迎え、「農業経営を持続・発展にむけて」をテーマにそれぞれの取り組みをうかがいました。

さらに講演会に続き、山本義明氏(㈱トマトップ)をコーディネーターに、3経営体が「経営を支える・経営を継承する人材の確保と育成」を話題に対談しました。後継者や若い社員とのコミュニケーションの仕方など、とても関心のある内容であったため、参加者の多くからもっと聞きかったとの声が寄せられました。



コーディネーターを交え対談

○ 講演内容

演 題	講 師
環境に配慮した持続可能な有機農業の実現	oryza farm(株) 松下明弘代表
永続的な農業を目指して	(農)川根美味しいたけ 西原睦実代表
SNSを活用した農産物のプロモーション	森木農園(株) 森木和也代表



松下明弘氏



西原睦実氏



森木和也氏

<全国協会の活動 ～第25回全国農業担い手サミットが開催される～>

令和6年2月28日(水)にイイノホール(東京都千代田区)で、全国認定農業者協議会が、第25回全国農業者担い手サミットを開催し、静岡県からは3名の認定農業者が参加しました。

サミットでは、農業経営の改善や地域農業の振興・活性化に関して優れた功績をあげた経営体を表彰する全国優良経営体表彰式が行われました。令和5年度は6部門で計39経営体が表彰され、静岡県では、浜松市の後藤剛さんが経営改善部門において全国担い手育成総合支援協議会会長賞を受賞されました。



後藤剛氏

事務所移転のお知らせ

県協会の事務を担当する「静岡県農業会議」は、静岡市城北公園の近くの旧JA静岡市安東支店に移転しました。新しい住所や電話番号は表紙を参照してください。